

安全防災担当室だより

問 安全防災担当室 防災防犯係 ☎(84)5540

家の中の
危険をチェック
してみよう

命を守る、けがを防ぐ、避難する、 事前の対策が明暗を分けます。



阪神・淡路大震災で犠牲となった方の80%以上が建物や家具などの下敷きによる圧死や窒息死でした。また、近年発生した地震でけがをした原因の30~50%が家具類の転倒・落下が原因となっています。大地震のとき、家具や家電製品、インテリアが凶器になることを知って、対策をとりましょう。

※下記の表を参考にご確認ください

リビング・ダイニングでの対策

- テレビは低い位置に置き固定していますか。
- テーブルやソファの脚に滑り止めをして固定していますか。
- 上下で分かれている家具は金具で連結していますか。
- 食器の下に滑り止めマットを敷いていますか。
- 冷蔵庫は壁に固定していますか。
- 調理器具は出しっぱなしにしていませんか。
- 中身が滑り出るのを防ぐために食器棚などの扉に留め具を付けていますか。



寝室での対策

- 寝るときはカーテンを閉めましょう。
- 寝ているところに家具が倒れてこない配置にしていますか。
- 雑貨などは飛んでいかないように整理収納していますか。
- タンスはストッパーで固定しましょう。
- 充電式ライトを近くに置いていますか。
- 履物・懐中電灯を備えていますか。



廊下・玄関での対策

- 通路には避難を妨げるものを置いていませんか。
 - 棚などは固定していますか。
 - 非常時持出品は持ち出しやすい場所に置いていますか。
- ※非常時持出品チェックリストは8月2日に配布した防災訓練のお知らせに掲載していますので併せてご確認ください

